

第7期計画 施策の進捗状況 調査結果のまとめ

目 次

基本目標1 健康づくりの推進	2
基本目標2 高齢者の暮らしの支援	3
基本目標3 生きがいづくりや社会参加活動の促進	4
基本目標6 地域福祉推進体制の充実	6
基本目標7 良好な住環境の整備	9
基本目標8 移動困難者の交通手段の検討	10
基本目標9 安心・安全なくらしの支援	11

	ページ	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期での 方向性	令和3年度	令和4年度	令和5年度	担当課	
基本目標1 健康づくりの推進										
1 健康づくりの推進										
(1) 健康に関する情報提供										
広報紙やパンフレット、ホームページ等の活用	47	計画値 (内容)	日高市健康増進計画・日高市食育推進計画「はつらつ日高21」に基づき、市民の健康づくりに関わる取組をさらに推進していくために、市の広報紙やパンフレットのほか、市のホームページやSNS上で、事業案内・健康情報をタイムリーに提供していきます。			継続				保健相談センター
		実績値 (予定・見込)	不定期ではあるが、季節や時期に合わせたタイムリーに情報発信	同左	季節や時期に合わせた情報発信以外に定期的な情報発信を行う			同左	同左	同左
健康づくりに関わる地区組織、ボランティア等の育成や支援	47	計画値 (内容)	健康づくりに関わる地区組織、ボランティア等の育成や支援を行い、自治会内における回覧など効果的に情報提供することで、高齢者が健康的な生活習慣を身につけることができるように努めます。			継続				保健相談センター
		実績値 (予定・見込)	生活習慣病予防相談者数 141人	生活習慣病予防相談者数 122人	生活習慣病予防相談者見込み数 130人		生活習慣病予防相談者見込み数 130人	生活習慣病予防相談者見込み数 140人	生活習慣病予防相談者見込み数 150人	
健康的な食生活の実践	47	計画値 (内容)	日常の食生活を見直し、健康的な食生活の実践を図るため、市民に栄養・食生活に関する情報の提供や個別の食生活診断を通して、栄養改善を進めます。			継続				保健相談センター
		実績値 (予定・見込)	食生活改善推進員関連事業参加者数 2,150人	食生活改善推進員関連事業参加者数 2,243人	食生活改善推進員関連事業参加者数 2,000人		食生活改善推進員関連事業参加者数 2,200人	食生活改善推進員関連事業参加者数 2,300人	食生活改善推進員関連事業参加者数 2,400人	
感染症予防	47	計画値 (内容)	感染症予防については、啓発を行うとともに、予防接種の接種勧奨を行っていきます。			継続	感染症予防については、感染予防の周知徹底に努めるとともに、予防接種の接種勧奨を行っていきます。			保健相談センター
		実績値 (予定・見込)	予防接種者人数(延べ) 17,015人	予防接種者人数(延べ) 16,715人	予防接種者人数見込み(延べ) 17,000人		予防接種者人数見込み(延べ) 17,000人	同左	同左	
(2) 健康づくりに関する取組の推進										
運動普及推進員や食生活改善推進員など市民ボランティア団体への支援	47	計画値 (内容)	市民の健康づくりを活性化するためには、運動普及推進員や食生活改善推進員など市民ボランティア団体の活動力を強化する必要があります。これらの団体を支援するとともに、スキルアップや参加者の増加を促すための各種研修や養成講座の開催に努めます。							保健相談センター
		実績値 (予定・見込)	食生活改善推進員数及び運動普及推進員数 79人 健康づくり応援隊養成講座の実施(3年に1回)	食生活改善推進員数及び運動普及推進員数 83人	食生活改善推進員数及び運動普及推進員数 80人見込み		食生活改善推進員数及び運動普及推進員数 80人見込み 健康づくり応援隊養成講座の実施(3年に1回)	食生活改善推進員数及び運動普及推進員数 90人見込み	同左	
ウォーキングプログラムやウォーキングマップの充実	47	計画値 (内容)	各公民館で実施している定例ウォーキングコースを多彩なコース設定とするなど、誰もが簡単に楽しめるウォーキングプログラムやウォーキングマップの充実を図ります。			継続	各公民館で実施している定例ウォーキングコースの設定にあたって、日高市運動普及推進員と連携を図り、誰もが簡単に楽しめるウォーキングマップ等による周知啓発を図ります。			保健相談センター・生涯学習課
		実績値 (予定・見込)	定例ウォーキング実施回数26回、参加者数 1,402名	定例ウォーキング実施回数26回、参加者数952名	定例ウォーキング実施回数26回、参加者数476名		定例ウォーキング実施回数18回、参加者数980名	定例ウォーキング実施回数18回、参加者数 1,030名	定例ウォーキング実施回数26回、参加者数 1,090名	

	ページ	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期での 方向性	令和3年度	令和4年度	令和5年度	担当課	
基本目標2 高齢者の暮らしの支援										
1 在宅福祉サービスの充実										
(1) 在宅高齢者支援事業										
①緊急通報装置の貸与 (緊急通報システム事業)	48	計画値 (内容)	非常時にボタンを押すだけで受信センターとの連絡を取れる装置を貸与します。			継続	非常時にボタンを押すだけで受信センターとの連絡を取れる装置です。			長寿いきがい課
			設置対象者数 86人	設置対象者数 88人	設置対象者数 90人		設置対象者数 80人	設置対象者数 80人	設置対象者数 80人	
		実績値 (予定・見込)	設置対象者数 78人 延べ件数 1,004件	設置対象者数 78人 延べ件数 952件						
②家具転倒防止器具取付事業	48	計画値 (内容)	地震発生時に転倒する可能性のある家具に、転倒防止のためのL字金具等の取付けをします。			継続				長寿いきがい課
			3件	3件	3件		2件	2件	2件	
		実績値 (予定・見込)	2件	0件	0件					
③老人日常生活用具給付事業	48	計画値 (内容)	生活の安全対策として、火災警報器の給付を行います。							長寿いきがい課
			利用者数 2件 給付台数 4台	同左	同左		同左	同左	同左	
		実績値 (予定・見込)	利用者数 0件 給付台数 0件	利用者数 1件 給付台数 1件 (寝室)	利用者数 0件 給付台数 0件					
④認知症高齢者位置情報サービスの助成	49	計画値 (内容)	認知症高齢者の在宅生活での徘徊行動による危険を防ぎ、家族介護の負担を軽減するため、常時電波を発信し、位置情報を送信する装置の利用開始時に係る整備費を助成します。			継続				長寿いきがい課
			助成件数 3件	助成件数 3件	助成件数 3件		助成件数 3件	助成件数 3件	助成件数 3件	
		実績値 (予定・見込)	助成件数 1件	助成件数 0件	助成件数 1件					
⑤ねたきり老人介護手当の支給	49	計画値 (内容)	常時ねたきりの状態か、これに準ずる状態が6か月以上継続している高齢者を家庭で介護している方への手当を支給します。			継続				長寿いきがい課
			対象者数 47人 延べ件数 450人	対象者数 48人 延べ件数 455人	対象者数 49人 延べ件数 460人		対象者数 35人 延べ件数 332人	対象者数 35人 延べ件数 332人	対象者数 35人 延べ件数 332人	
		実績値 (予定・見込)	対象者数 35人 延べ件数 354人	対象者数 34人 延べ件数 303人						
⑥寝具消毒乾燥車の派遣	49	計画値 (内容)	衛生と健康を保持することを目的として、寝具の消毒乾燥を実施します。			継続				長寿いきがい課
			対象者数 60人 延べ件数 460人	対象者数 62人 延べ件数 470人	対象者数 63人 延べ件数 480人		対象者数 64人 延べ件数 500人	対象者数 64人 延べ件数 500人	対象者数 64人 延べ件数 500人	
		実績値 (予定・見込)	対象者数 60人 延べ件数 536人	対象者数 61人 延べ件数 491人						
⑦徘徊高齢者等見守りシールの交付	49	計画値 (内容)	徘徊高齢者等が徘徊した際の早期保護等につなげるため、認知症などで徘徊するおそれのある方に、連絡先等の情報をスマートフォン等で読み取ることができるQRコードが印字され、衣服等に貼ることができる見守りシールを交付します。			継続				長寿いきがい課
			交付件数 5件	交付件数 7件	交付件数 9件		交付件数 3件	交付件数 3件	交付件数 3件	
		実績値 (予定・見込)	交付件数 6件	交付件数 1件	交付件数 1件					

	ページ	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期での 方向性	令和3年度	令和4年度	令和5年度	担当課	
基本目標3 生きがいづくりや社会参加活動の促進										
1 高齢者の活動支援										
(1) 生涯学習やスポーツ活動の推進										
文化・スポーツ・レクリエーション活動を通じた仲間づくり	50	計画値 (内容)	文化・スポーツ・レクリエーション活動を通じた楽しい仲間づくりができるよう事業展開を図ります。			継続	地域での学習施策を拡充し、文化・スポーツ・レクリエーション活動を通じた楽しい仲間づくりができるよう事業展開を図ります。			生涯学習課
		実績値 (予定・見込)	公民館の高齢者事業、実施回数49回、参加者数2,388名。	公民館の高齢者事業、実施回数46回、参加者数2,085名。	公民館の高齢者事業、実施回数32回、参加者数1,043名。		公民館の高齢者事業、実施回数47回、参加者数2,130名。	公民館の高齢者事業、実施回数48回、参加者数2,190名。	公民館の高齢者事業、実施回数50回、参加者数2,220名。	
地域での学習施策の拡充	50	計画値 (内容)	高齢者自身が積極的に学習・文化活動に取り組めるよう、地域での学習施策の拡充、生涯学習ボランティアへの登録と活用を促進するとともに、誰でも気軽に参加できる幅広いスポーツ・レクリエーションプログラムの提供を引き続き進めます。			上記に統合				生涯学習課
		実績値 (予定・見込)	公民館の高齢者事業、実施回数49回、参加者数2,388名。	公民館の高齢者事業、実施回数46回、参加者数2,085名。	公民館の高齢者事業、実施回数32回、参加者数1,043名。		—	—	—	
生涯学習ボランティアへの登録と活用	50	計画値 (内容)	高齢者自身が積極的に学習・文化活動に取り組めるよう、地域での学習施策の拡充、生涯学習ボランティアへの登録と活用を促進するとともに、誰でも気軽に参加できる幅広いスポーツ・レクリエーションプログラムの提供を引き続き進めます。			継続	高齢者自身が積極的に学習・文化活動に取り組めるよう、生涯学習ボランティアへの登録と活用を促進するとともに、誰でも気軽に参加できる幅広いスポーツ・レクリエーションプログラムの提供を引き続き進めます。			生涯学習課
		実績値 (予定・見込)	生涯学習出前講座講師登録者数 84名 生涯学習出前講座利用者数 1,571名	生涯学習出前講座講師登録者数 78名 生涯学習出前講座利用者数 917名	生涯学習出前講座講師登録者数 84名 生涯学習出前講座利用者数 450名		生涯学習出前講座講師登録者数 85名 生涯学習出前講座利用者数 900名	生涯学習出前講座講師登録者数 90名 生涯学習出前講座利用者数 1,000名	生涯学習出前講座講師登録者数 95名 生涯学習出前講座利用者数 1,100名	
スポーツ・レクリエーションプログラムの提供	50	計画値 (内容)	高齢者自身が積極的に学習・文化活動に取り組めるよう、地域での学習施策の拡充、生涯学習ボランティアへの登録と活用を促進するとともに、誰でも気軽に参加できる幅広いスポーツ・レクリエーションプログラムの提供を引き続き進めます。			変更	誰でも気軽に参加できる幅広いスポーツ・レクリエーションプログラムの提供			生涯学習課
		実績値 (予定・見込)	ベタンク大会、ラケットテニス大会、日高かわせみの里ツデーウオーク、四半的弓道大会の開催 参加者数 6,958人	ベタンク大会、ラケットテニス大会、日高かわせみの里ツデーウオーク、四半的弓道大会の開催 参加者数 2,947人	ベタンク大会【中止】、ラケットテニス大会【中止】、日高かわせみの里ツデーウオーク【中止】、四半的弓道大会の開催		(高齢者が求めているスポーツは何か、介護予防に必要な運動はなにかなどを検討)			
軽スポーツメニューの普及	50	計画値 (内容)	特に、高齢者が参加しやすい軽スポーツメニューの普及を推進するとともに、身体が不自由であっても誰もが参加し、楽しめるレクリエーション活動の充実に努めます。			終了	上記の「スポーツ・レクリエーションプログラムの提供」の中で事業を進める			生涯学習課
		実績値 (予定・見込)	ベタンク大会、ラケットテニス大会、日高かわせみの里ツデーウオーク、四半的弓道大会の開催 参加者数 6,958人	ベタンク大会、ラケットテニス大会、日高かわせみの里ツデーウオーク、四半的弓道大会の開催 参加者数 2,947人	ベタンク大会【中止】、ラケットテニス大会【中止】、日高かわせみの里ツデーウオーク【中止】、四半的弓道大会の開催		—	—	—	

	ページ	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期での 方向性	令和3年度	令和4年度	令和5年度	担当課	
(2) 就業機会の拡大										
情報提供	50	計画値 (内容)	所沢公共職業安定所飯能出張所（ハローワーク飯能）からの求人情報を市役所産業振興課や市役所1階市民ロビーに設置し、情報提供を行います。			継続				産業振興課
		実績値 (予定・見込)	同左	同左	同左		同左	同左	同左	
シルバー人材センターの活動支援	50	計画値 (内容)	高齢者の豊かな経験を生かしながら、働くことを通じて、高齢者の自立と社会参加する機会を創出するとともに、高齢者に適した臨時的・短期的な就業機会を提供するために、シルバー人材センターの活動を支援します。			継続				長寿いきがい課
(3) 地域活動の参加促進										
サロン活動や地域おたすけ隊の設置及び運営に係る支援	51	計画値 (内容)	社会福祉協議会では、サロン活動や地域おたすけ隊の設置及び運営に係る支援を行っています。サロン活動のPRや活動の拡大に向けた支援、地域おたすけ隊の未設置地区への設置拡大を図っていきます。			継続	社会福祉協議会では、サロン活動や地域おたすけ隊の設置及び運営に係る支援を行っています。サロン活動のPRや活動の拡大に向けた支援、地域おたすけ隊の未設置地区への設置拡大を図っていきます。			社会福祉協議会
		実績値 (予定・見込)	①サロン活動支援事業（登録サロン数：市内18カ所） ②日高市地域支え合い事業（市内4カ所、協力会員129人、のべ支援件数2,953件、のべ支援時間数4,182時間）	①サロン活動支援事業（登録サロン数：市内25カ所） ②日高市地域支え合い事業（市内4カ所、協力会員135人、のべ支援件数3,065件、のべ支援時間数4,109.5時間）	①サロン活動支援事業（20カ所） ②日高市地域支え合い事業（市内4カ所、協力会員135人、のべ支援件数2,500件、のべ支援時間数3,000時間）※コロナ禍で減少見込み		①サロン活動支援事業（登録数30カ所） ②日高市地域支え合い事業（協力会員数160人）	①サロン活動支援事業（登録数35カ所） ②日高市地域支え合い事業（協力会員数180人）	①サロン活動支援事業（登録数40カ所） ②日高市地域支え合い事業（協力会員数200人）	
社会福祉協議会の取組の支援	51	計画値 (内容)	社会福祉協議会が取り組む地域共生社会実現のために、地域住民が支え合いながらコミュニティを育成し、公的な福祉サービスと協働して、たすけあいながら暮らしていく取組を支援します。			変更	（「地区社会福祉協議会」（仮称）の設置と整理統合）			社会福祉協議会
		実績値 (予定・見込)	福祉のまちづくり活動助成事業（79件、助成対象行事のべ参加者数11,496人）	福祉のまちづくり活動助成事業（71件、助成対象行事のべ参加者数10,691人）	福祉のまちづくり活動助成事業（20件、助成対象行事のべ参加者数3,000人）		（整理統合）	同左	同左	
自治会活動の活性化	51	計画値 (内容)	自治会を中心とした地域コミュニティは、閉じこもり予防、介護予防への取組、小地域福祉活動など様々な活動の足がかりとなっていることから、自治会活動の活性化を図っていきます。			継続	自治会への行政文書の配付を通じ、高齢者やその家族のほか、自治会を始めとする地域の支援者に向けて、適宜、必要な情報提供に努めます。また、区運営交付金を交付し、自治会等地域コミュニティの活性化に資する事業を支援します。			総務課
		実績値 (予定・見込)	区長文書配付 毎月1回 区運営交付金交付 年1回				同左	同左	同左	
老人クラブの支援	51	計画値 (内容)	老人クラブ連合会及び単位老人クラブの活性化に向けては、友愛訪問活動や清掃奉仕活動、地域見守り活動などの高齢者同士の助け合い、スポーツ・レクリエーションによる健康づくりや交流活動など、老人クラブの自主的な取組を支援します。			継続	老人クラブの活性化に向けては、友愛訪問活動や清掃奉仕活動、地域見守り活動などの高齢者同士の助け合い、スポーツ・レクリエーションによる健康づくりや交流活動の他、老人クラブの活動を活性化するため、情報提供等を適宜行うなどして、その活動を支援します。			長寿いきがい課

	ページ		平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期での 方向性	令和3年度	令和4年度	令和5年度	担当課
(4) 高齢者福祉センター										
-	51	計画値 (内容)	高齢者の健康づくり、教養の向上及びレクリエーションを通じた仲間づくりを行うために日高市総合福祉センター「高麗の郷」の管理運営を行います。 また、日高市総合福祉センター内の高齢者福祉センターを通じて、高齢者の社会参加と生きがいづくりのため、施設を有効活用していきます。			継続	高齢者の交流活動の拠点として、日高市総合福祉センター「高麗の郷」の管理運営を行い、利用促進を図ります。また、施設の適切な維持管理を行います。			生活福祉課
		実績値 (予定・見込)	総合福祉センター利用者数 134,571人(実績)	総合福祉センター利用者数 121,700人(実績)	総合福祉センター利用者数 140,000人(予定・見込み)		電動排煙窓装置交換工事	大浴場、脱衣場改修工事(男・女共) エントランス照明改修工事	カーペット張替え(エリアごとに数年計画) 通路等インターロッキング改修工事	

基本目標6 地域福祉推進体制の充実

1 福祉の意識づくり

(1) 福祉の啓発・広報の充実

高齢者向けの講座や講演会などの実施	75	計画値 (内容)	福祉の意識づくりを進めるため、各地区での高齢者学級等において、様々な講座を展開しています。また、地域福祉を推進するための出前講座の開催やサロン活動等のPR等を行っており、引き続き、高齢者向けの講座や講演会などを実施するとともに、地域福祉活動のPRを行うなど、啓発・広報の充実を図ります。	継続	福祉の意識づくりを進めるため、各地区での高齢者学級等において、様々な講座を展開します。また、地域福祉を推進するための出前講座の開催やサロン活動等のPR等を行い、引き続き、高齢者向けの講座や講演会などを実施するとともに、地域福祉活動のPRを行うなど、啓発・広報の充実を図ります。	長寿いきがい課
-------------------	----	-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------

(2) 福祉教育の推進

学校教育での福祉教育	75	計画値 (内容)	子どもたちが、高齢者や社会福祉について関心を持ち、高齢社会を支える住民の一人として、自ら考え、行動できる力を養うことを目的に、高齢者との交流、福祉施設での体験学習など、学校教育の中で福祉教育を推進します。	継続				学校教育課
		実績値 (予定・見込)	・小学校 車いすやアイマスクなどの福祉体験 ・中学校 認知症サポーター養成講座など 各年1回		同左	同左	同左	
地域における高齢者とのふれあいの機会		計画値 (内容)	高齢者を講師にした昔遊びなどの学習、ボランティア体験学習など、高齢者との交流体験を充実するとともに、学校応援団等で空き教室を利用し、地域における日常的な交流・ふれあいの機会を増やしていきます。	継続				学校教育課
		実績値 (予定・見込)	小学校 高齢者との交流「昔あそび」年1回 クラブ活動における講師 年15回 中学校 市主催行事(ツデーウォーク・市民まつり等)ボランティア参加		同左	同左	同左	

	ページ	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期での 方向性	令和3年度	令和4年度	令和5年度	担当課	
(3) ボランティア活動の促進										
ボランティア活動 の活性化	75	計画値 (内容)	社会福祉協議会とともに、ボランティア団体の情報発信、担い手募集、マッチング活動費援助等の支援を行います。また、ボランティア活動に関する情報提供やボランティアコーディネーターによる連絡・調整、彩の国ボランティア体験プログラムなどによるボランティア体験機会の拡充など、社会福祉協議会におけるボランティアに関する事業を支援し、ボランティア活動の活性化を図ります。			変更	アクティブシニアの社会参加促進・ボランティア活動支援事業 ①日高ボランティアネットを拡充し、メール会員の拡大を図り、インターネットによるボランティア活動のマッチングを進めます。②ボランティアサポーターを養成し、ボランティアに参加したい人への相談、情報提供体制の充実を図ります。③おとなフェスタひだかを開催し、アクティブシニア層の活動参加へのきっかけづくりを促進します。			社会福祉協議会
		実績値 (予定・見込)	シニアの社会参加促進・ボランティア活動支援事業 ①日高ボランティアネット運営、②ボランティアサポーター養成講座(のべ21人受講)、③おとなフェスタひだか2019開催(来場者数450人)	シニアの社会参加促進・ボランティア活動支援事業 ①日高ボランティアネット運営、②ボランティアサポーター養成講座(のべ67人受講)、③おとなフェスタひだか2019VOL. 2(来場者数500人)	シニアの社会参加促進・ボランティア活動支援事業 ①日高ボランティアネット運営、②ボランティアサポーター養成講座、③おとなフェスタについては実施可否を検討		①日高ボランティアネットのメール会員拡大(500人)	①日高ボランティアネットのメール会員拡大(600人)	①日高ボランティアネットのメール会員拡大(800人)	
地域おたすけ隊の 活動支援		計画値 (内容)	社会福祉協議会において運営支援を行っている地域おたすけ隊については、地域おたすけ隊の取組を広げ、全ての地域で活動ができるよう支援体制の充実を図っていきます。			継続				社会福祉協議会
		実績値 (予定・見込)	地域おたすけ隊活動実績(市内4か所に設置、のべ利用件数3,101件、のべ利用時間数4,411時間、利用会員数611人、協力会員数141人、地域支え合い協力店101店舗)	地域おたすけ隊活動実績(市内4か所に設置、のべ利用件数3,065件、のべ利用時間数4,109.5時間、利用会員数798人、協力会員数135人、地域支え合い協力店97店舗)	地域おたすけ隊活動実績(市内4か所に設置、のべ利用件数2,500件、のべ利用時間数3,000時間、利用会員数800人、協力会員数135人、地域支え合い協力店100店舗)		日高市地域支え合い事業(協力会員数160人)	日高市地域支え合い事業(協力会員数180人)	日高市地域支え合い事業(協力会員数200人)	

	ページ	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期での 方向性	令和3年度	令和4年度	令和5年度	担当課
2 支え合いの地域づくり									
(1) 地域ネットワークづくりの推進									
—	76	計画値 (内容)	平成30(2018)年4月施行の社会福祉法の一部改正の中で「住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくり」が規定され、多様な世代が地域で支え合う体制をより一層進める必要があります。 地域の団体、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、ボランティア、教育機関、社会福祉施設、医療機関などの連携による地域の福祉ネットワークを活用して、誰もが住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるよう、「他人事」ではなく「我が事」として考える地域づくりを目指し、見守り活動をはじめとした地域で支え合う体制を整えていきます。		継続				長寿いきがい課
(2) 地域活動の支援									
「地区社会福祉協議会」(仮称)の設置	76	計画値 (内容)	地域福祉推進のための福祉圏域の基礎単位としている小学校区において、圏域内で地域福祉課題の共有、協議を進め、住民主体による地域福祉課題を丸ごと受け止め解決を目指す組織として「地区社会福祉協議会」(仮称)の設置を支援します。		継続				社会福祉協議会
		実績値 (予定・見込)	(平成29年度に地域懇談会の開催(市内6会場72人参加))	市から「日高市地域支え合い体制整備運営事業」を受託し、市内2学校区(武蔵台・高根)をモデル地域(2か年)として選定し、地域福祉連絡会を開催、「地域福祉推進組織」の立ち上げに向けた準備に着手しました。	モデル地域におけるニーズ調査や地域福祉連絡会を通じて、地域の実情に合ったかたちでの組織化を提案し、組織の立ち上げを進めます。	地域福祉推進組織の立ち上げ支援を順次進めます。 地域福祉推進組織の財源等について、既存の助成制度の見直しを進め、設置地域には新しい制度の導入を進めます。	地域福祉推進組織の立ち上げ支援を順次進めます。	同左	
災害時における要支援者への支援体制		計画値 (内容)	災害時には、市や防災関係機関が避難誘導や応急活動を行います。地域住民の初期対応や助け合いが被害を最小限に抑える最も大きな力になることから、要支援者に対して地域全体で支援を進める体制が必要です。		終了・廃止				危機管理課
介護保険事業者における災害に対する危機管理体制の再構築	76	計画値 (内容)	災害への備えとしては、危機管理体制の再構築を各介護保険事業者に促し、防災力の強化、利用者及び事業者の安全確保に努めます。また、災害時の利用者の安否確認等を図るため、地域包括支援センターを中心とした事業者間の連携強化と行政を含めた効率的な連絡網の構築に努めます。		継続	各種災害に備えた十分な対策を講じるため、各介護保険事業者に非常災害計画の作成や避難訓練の実施を促し、利用者及び事業者の安全確保に努めます。 また、災害時の利用者の安否確認等を図るため、地域包括支援センターを中心とした事業者間の連携強化と行政を含めた効率的な連絡網の構築に努めます。			長寿いきがい課
災害時の安否確認の手順の構築	76	計画値 (内容)	市の防災訓練の機会に、市内全世帯が参加する安否確認訓練を通じて、災害時の市民の安否確認の手順の構築に努めます。		継続				危機管理課

	ページ	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期での 方向性	令和3年度	令和4年度	令和5年度	担当課
基本目標7 良好な住環境の整備									
1 生活環境の充実									
(1) 民間施設等のバリアフリー									
—	77	計画値 (内容)	「高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）」、「埼玉県高齢者、障がい者等が円滑に利用できる建築物の整備に関する条例」、「埼玉県福祉のまちづくり条例」、「埼玉県建築基準法施行条例」などに基づき、誰もが住み良いまち、利用しやすい施設の整備・改善を進めます。 また、関係各課が連携し、民間施設等のバリアフリー化の推進・指導に努めます。		継続				都市計画課
(2) 道路・公園の整備									
公園の整備	77	計画値 (内容)	公園を新設する際には、誰もが安全に利用できるよう配慮した整備を行っていくほか、既存の公園についても必要に応じて改善に努めます。		継続	誰もが安心・安全に利用できる公園を整備し、利用者に憩いの空間を与える。			市街地整備課
		実績値 (予定・見込)	市民が安心して快適に公園を利用できるように維持管理に努めた	同左	市民が安心して快適に公園を利用できるように維持管理に努めるとともに、良好な公園環境の形成、保全を推進する。	公園等の維持管理、保守点検、更新工事等を行う。区画整理地内に公園を新設する。	公園等の維持管理、保守点検、更新工事等を行う。	同左	
道路の整備	77	計画値 (内容)	幹線道路等については、歩道の整備など安全施設の整備により歩行空間の確保を図ります。		継続	幹線道路等については、歩道の整備など安全施設の整備により歩行空間の確保を図ります。			建設課
2 居住の場の確保									
(1) 養護老人ホーム									
—	77	計画値 (内容)	65歳以上の高齢者で環境上の理由、経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な方を入所させ、養護することを目的とする施設です。 養護老人ホーム入所措置基準に基づき、老人ホーム入所判定委員会において入所の必要性が判定された方に、今後も入所措置を調整していきます。		継続				長寿いきがい課
		実績値 (予定・見込)	老人ホーム入所措置事業 措置人数 ・養護老人ホーム 2人 ・特別養護老人ホーム 0人	・養護老人ホーム 2人 ・特別養護老人ホーム 1人	・養護老人ホーム 2人 ・特別養護老人ホーム 1人	・養護老人ホーム 3人 ・特別養護老人ホーム 1人	・養護老人ホーム 3人 ・特別養護老人ホーム 1人	・養護老人ホーム 3人 ・特別養護老人ホーム 1人	
(2) ケアハウス									
—	78	計画値 (内容)	現在、市内に定員50人のケアハウスが1か所あります。本計画期間において、新たな特定施設入居者生活介護の市内における増加は、見込んでいません。		継続				長寿いきがい課

	ページ	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期での 方向性	令和3年度	令和4年度	令和5年度	担当課
(3) サービス付き高齢者向け住宅									
—	78	計画値 (内容)	高齢者の居住の安定を確保するため、日中は生活相談員が常駐し、入居者の安否確認や様々な生活支援サービスを受けることができます。 高齢者のニーズに応じた居住施設を整備するため、関係行政機関等との連携を図ります。			継続			長寿いきがい課
(4) 有料老人ホーム									
—	78	計画値 (内容)	入浴・排泄・食事の介護、食事の提供、洗濯・掃除等の家事、健康管理など、日常生活に必要なサービスが受けられる高齢者向けの居住施設です。 高齢者のニーズに応じた居住施設を整備するため、関係行政機関等との連携を図ります。			継続			長寿いきがい課

基本目標8 移動困難者の交通手段の検討

1 高齢者の移動支援									
(1) 移動困難者の支援									
①高齢者等おでかけ支援事業	79	計画値 (内容)	運転免許証の返納等により自力での移動が困難な高齢者等が、買い物や通院、社会参加等の外出をしやすくなるよう、路線バス又はタクシーの運賃の一部補助を行います。			継続			危機管理課
		実績値 (予定・見込)	高齢者おでかけ支援事業申請件数 1,318件	高齢者おでかけ支援事業申請件数 1,637件	高齢者おでかけ支援事業申請件数 1,800件		高齢者おでかけ支援事業の継続 申請件数前年比10%増	同左	同左
②日高市地域支え合い事業	79	計画値 (内容)	付き添いによる支援を必要とする高齢者が、買い物や通院、手続等の外出をしやすくなるよう、地域おたすけ隊による外出支援活動の充実を図ります。			継続			社会福祉協議会
		実績値 (予定・見込)	地域おたすけ隊による運転を伴う付き添い支援時間数 (2,546.5時間)	地域おたすけ隊による運転を伴う付き添い支援時間数 (2,579.5時間)	地域おたすけ隊による運転を伴う付き添い支援時間数 (1,800時間)		・地域おたすけ隊への車両運行管理の委任(3台) ・運転協力会員研修受講料の補助(10人) ・自家用車による移送支援実施における賠償責任保険加入支援	同左	同左

	ページ	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期での 方向性	令和3年度	令和4年度	令和5年度	担当課
基本目標9 安心・安全なくらしの支援									
1 安心と安全の確保									
(1) 防災対策の充実									
—	80	計画値 (内容)	自主防災組織は、79区(合同団体4区あり)全てに設立され、更なる組織の活性化や防災意識の高揚のための施策を実施する必要があります。都市基盤の整備や避難行動要支援者の安全確保など、災害に強い安全なまちづくりを総合的に推進するため、引き続き、地域防災計画に基づく防災対策に取り組んでいきます。		継続	自主防災組織の更なる組織の活性化や防災意識の高揚のための施策を実施する必要があります。都市基盤の整備や避難行動要支援者の安全確保など、災害に強い安全なまちづくりを総合的に推進するため、引き続き、地域防災計画に基づく防災対策に取り組んでいきます。			危機管理課
(2) 避難行動要支援者への支援									
—	80	計画値 (内容)	平成28年度から市内全世帯を対象とした「安否確認訓練」を実施し、大規模災害発生時における市民の安否確認の手順を実践していますが、今後は、避難行動要支援者を含めた安否確認訓練の実施を促す必要があります。要介護認定を受けている高齢者や重度の障がい者の方は、災害時に自力で避難することが困難なことから、事前に名簿の提供に同意した方の情報を避難行動要支援者同意者名簿として区・自治会、自主防災組織などに配布しており、引き続き、災害時に地域住民の力を借りて支援する仕組みの構築を進めます。		継続				危機管理課
(3) 防犯対策の充実									
—	80	計画値 (内容)	子どもへの声かけ事案や高齢者への振り込め詐欺等の被害が絶えず発生しているため、引き続き、自主的な防犯パトロール等の活動が必要です。犯罪の発生やその被害を未然に防ぐため、引き続き、地域住民による防犯パトロール活動団体を支援するとともに、飯能警察署や関係団体との連携強化を図り、組織的な防犯活動を展開していきます。		継続				危機管理課
		実績値 (予定・見込)	青色防犯パトロール車による防犯活動：12回/年 防犯キャンペーンの実施：6回/年	同左		青色防犯パトロール車による防犯活動：24回/年 防犯キャンペーンの実施：6回/年	同左	同左	同左

	ページ	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期での 方向性	令和3年度	令和4年度	令和5年度	担当課	
(4) 消費者被害防止の推進										
消費生活に関する啓発	81	計画値 (内容)	消費生活に関するトラブルが多様化しているため、被害にあった場合の対処方法や被害の未然防止のための啓発が必要です。 多様化、複雑化する消費者問題に適切した講座内容・講師の選別を実施していきます。被害の対象となりやすい高齢者世帯を守るために、市の広報紙や市のホームページなどを活用して消費生活に関する情報の提供を行うとともに、民生委員・児童委員、老人クラブなどと連携を図っていきます。			継続				産業振興課
		実績値 (予定・見込)	消費生活相談事業：市民団体からの依頼により講演会を実施した（5回、参加者延べ395人）・消費生活相談件数292件	消費生活相談事業：市民団体からの依頼により講演会を実施した（2回、参加者延べ280人）・消費生活相談件数221件	消費生活相談事業：新型コロナウイルス感染症の影響により講演会の実施は未定・消費生活相談件数74件（8/25現在）		消費生活相談事業：市民団体からの依頼により講演会を実施する（2回、参加者延べ280人の見込み）・消費生活相談件数200件	同左	同左	
消費生活相談	81	計画値 (内容)	消費生活相談については、件数の推移などに応じて更なる充実を検討します。			継続				産業振興課
		実績値 (予定・見込)	消費生活相談事業 消費生活相談センターを週4日開設 消費生活相談件数292件	消費生活相談事業 消費生活相談センターを週4日開設 消費生活相談件数221件	消費生活相談事業 消費生活相談センターを週4日開設 消費生活相談件数74件（8/25現在）		消費生活相談事業 消費生活相談センターを週4日開設	同左	同左	
(5) 交通安全										
高齢者を対象とした啓発活動	81	計画値 (内容)	県内の交通事故死亡者の半数以上が高齢者であることから、飯能警察署等交通関係団体と連携し、高齢者を対象とした交通安全教育等交通安全の啓発活動を続けていく必要があります。			継続				危機管理課
		実績値 (予定・見込)	高齢者を対象とした交通安全教室の開催 参加人数231名	高齢者を対象とした交通安全教室の開催 参加人数341名	高齢者を対象とした交通安全教室の開催 参加人数 50名		高齢者を対象とした交通安全教室の開催 参加人数250名	高齢者を対象とした交通安全教室の開催 参加人数300名	高齢者を対象とした交通安全教室の開催 参加人数350名	
交通安全意識の向上	81	計画値 (内容)	飯能警察署・交通関係団体と連携し、交通安全講話、ビデオ視聴等により、今後も交通安全意識の向上を図っていきます。また、市の広報紙に交通事故について掲載し、注意を促していきます。			継続				危機管理課
		実績値 (予定・見込)	交通安全啓発人数 10,038人	交通安全啓発人数 6,584人	交通安全啓発人数 5,500人		交通安全啓発人数 6,000人	交通安全啓発人数 6,500人	交通安全啓発人数 7,000人	
2 虐待防止と権利擁護の推進										
(1) 高齢者の虐待防止										
「日高あんしんねっと」の活動推進	81	計画値 (内容)	高齢者の虐待の防止と早期発見に向け、虐待についての理解を深めるとともに、地域包括支援センターと他の関係機関で構成された日高市要援護高齢者等支援ネットワーク「日高あんしんねっと」の活動を推進します。			継続				長寿いきがい課
		実績値 (予定・見込)	日高あんしんねっと関係機関からの通報件数251件 要援護高齢者等支援ネットワーク研修会の開催	日高あんしんねっと関係機関からの通報件数178件 要援護高齢者等支援ネットワーク研修会の開催	要援護高齢者等支援ネットワーク研修会の開催		要援護高齢者等支援ネットワーク研修会の開催	同左	同左	
地域包括支援センターの総合相談窓口の充実	81	計画値 (内容)	認知症高齢者を介護している家族は、介護ストレスを抱えることがありますので、虐待の防止に資するため、地域包括支援センターの総合相談窓口の充実を図ります。			継続	支援を必要としている高齢者や養護者・家族などに対して適切な支援を行い、虐待防止に資するため、地域包括支援センターの総合相談窓口の充実を図ります。			長寿いきがい課
		実績値 (予定・見込)	総合相談件数 6,352件（合計）	総合相談件数 6,702件（合計）	前年度並み		—	—	—	

	ページ	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期での 方向性	令和3年度	令和4年度	令和5年度	担当課
(2) 権利擁護事業の活用促進									
日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）	82	計画値 (内容)	高齢者の権利を擁護するための仕組みとして、認知症高齢者等であつて、日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、判断、意思表示を本人のみでは適切に行うことが困難な方への支援として、社会福祉協議会が、金銭管理や各種申請など日常生活援助の範囲内での支援を行う日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）を、市では、財産管理や身上監護に関する契約等の法律行為全般を援助する成年後見制度の利用に関する支援を実施しています。			継続	—		社会福祉協議会
		実績値 (予定・見込)	日常生活自立支援事業（安心サポートネット） ①相談件数のべ1,072件、②支援契約締結件数14件	日常生活自立支援事業（安心サポートネット） ①相談件数のべ1,165件、②支援契約締結件数13件	日常生活自立支援事業（安心サポートネット） ①相談件数のべ800件、②支援契約締結件数15件		日常生活自立支援事業（安心サポートネット）の実施	同左	
成年後見制度の利用に関する支援	82	計画値 (内容)	高齢者の権利を擁護するための仕組みとして、認知症高齢者等であつて、日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、判断、意思表示を本人のみでは適切に行うことが困難な方への支援として、社会福祉協議会が、金銭管理や各種申請など日常生活援助の範囲内での支援を行う日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）を、市では、財産管理や身上監護に関する契約等の法律行為全般を援助する成年後見制度の利用に関する支援を実施しています。			継続			長寿いきがい課
		実績値 (予定・見込)	成年後見制度市長申立件数 2件 成年後見制度利用支援事業助成者数 1人	成年後見制度市長申立件数 2件 成年後見制度利用支援事業助成者数 1人	成年後見制度市長申立件数 1件 成年後見制度利用支援事業助成者数 1人		成年後見利用支援事業の実施	同左	
日高市成年後見制度利用支援事業	82	計画値 (内容)	成年後見制度を利用する必要があると認められるにも関わらず、制度を利用できない方を対象とした「日高市成年後見制度利用支援事業」の普及と利用支援を促進するとともに、社会福祉協議会等と連携を図りながら、市民後見人の育成に取り組みます。			継続			長寿いきがい課
		実績値 (予定・見込)	成年後見制度市長申立件数 2件 成年後見制度利用支援事業助成者数 1人	成年後見制度市長申立件数 2件 成年後見制度利用支援事業助成者数 1人	成年後見制度市長申立件数 1件 成年後見制度利用支援事業助成者数 1人		成年後見制度利用支援事業の実施と、広報やHP等での普及啓発による利用促進。	同左	
市民後見人の育成	82	計画値 (内容)	成年後見制度を利用する必要があると認められるにも関わらず、制度を利用できない方を対象とした「日高市成年後見制度利用支援事業」の普及と利用支援を促進するとともに、社会福祉協議会等と連携を図りながら、市民後見人の育成に取り組みます。			継続			長寿いきがい課 ・社会福祉協議会
		実績値 (予定・見込)	ホームページによる制度の普及。	同左	ホームページや出前講座による制度の普及。		ホームページ等での制度の普及。 社会福祉協議会と連携し、市民後見人の養成及び支援を行います。	同左	

	ページ	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期での 方向性	令和3年度	令和4年度	令和5年度	担当課	
3 情報提供・相談体制の充実										
(1) 情報提供の充実										
広報紙やホームページの活用	82	計画値 (内容)							市政情報課	
		実績値 (予定・見込)								
啓発活動の推進	82	計画値 (内容)	地域包括支援センターをはじめ、介護支援専門員やボランティア等の協力を得ながら、啓発活動を推進していきます。			継続			長寿いきがい課	
		実績値 (予定・見込)	市のホームページや広報、地域包括支援センター主催の事業支所情報交換会にて情報提供を行いました。	同左	同左		市のホームページや広報、地域包括支援センター主催の事業支所情報交換会にて情報提供を行います。	同左	同左	
(2) 総合相談窓口の設置										
地域包括支援センターの活動	83	計画値 (内容)	地域包括支援センターが、地域における身近な総合相談窓口として、介護保険制度をはじめ、保健・福祉サービス等に関する利用者の相談に包括的に対応するとともに、関係機関と情報共有しつつ、総合的な保健・福祉サービスの調整等を行います。			継続			長寿いきがい課	
		実績値 (予定・見込)	総合相談件数 6,352件 (合計)	総合相談件数 6,702件 (合計)	前年度並み	—	—	—		
コミュニティ・ソーシャル・ワーカー(CSW)	83	計画値 (内容)	制度と制度の狭間にある地域福祉課題や複合課題について対応するため、市における包括的な相談支援体制の整備を図るとともに、地域の課題と住民、専門職を結ぶ役割として社会福祉協議会にコミュニティ・ソーシャル・ワーカー(CSW)を配置し、総合相談支援体制の確立を推進します。			変更	(2) 包括的な相談支援体制の推進 制度の狭間にある地域福祉課題や複合課題について対応するため、市における包括的な相談支援体制の強化を図るとともに、社会福祉協議会への自立相談支援機関の体制強化及びコミュニティ・ソーシャル・ワーカー(CSW)活動への支援を通じ、相談支援体制の推進を図ります。市、社会福祉協議会、関係機関の連携により市全体の包括的な相談支援体制の推進を図ります。			生活福祉課
		実績値 (予定・見込)	日高市福祉総合相談体制プロジェクトチーム設置 市、社会福祉協議会、関係機関の連携強化 3回開催 市全体の総合相談体制の在り方について検討 4回開催	日高市福祉複合課題調整チーム設置 市、社会福祉協議会、関係機関の連携強化 3回開催 複合課題を抱えた困難ケースの調整、支援策の検討 2回開催	日高市福祉複合課題調整チーム 市、社会福祉協議会、関係機関の連携強化 複合課題を抱えた困難ケースの調整、支援策の検討		日高市福祉複合課題調整チーム 市、社会福祉協議会、関係機関の連携強化 複合課題を抱えた困難ケースの調整、支援策の検討 包括的な相談支援体制の在り方の検討	同左	同左	

	ページ	平成30年度	令和元年度	令和2年度	第8期での 方向性	令和3年度	令和4年度	令和5年度	担当課	
(3) 窓口対応の充実										
各窓口での相談・ 苦情処理体制	83	計画値 (内容)	庁内各相談窓口の担当職員の連携・調整機能を一層強化し、各窓口での相談・苦情処理体制の充実に努めます。			3 情報提供・相談体制の充実 (2) 総合相談窓口の設置 参照				生活福祉課
		実績値 (予定・見込)	日高市福祉総合相談体制プロジェクトチーム設置 市全体の総合相談体制の在り方について検討 4回開催	日高市福祉複合課題調整チーム設置 市、社会福祉協議会、関係機関の連携強化 3回開催 複合課題を抱えた困難ケースの調整、支援策の検討 2回開催	日高市福祉複合課題調整チーム 市、社会福祉協議会、関係機関の連携強化 複合課題を抱えた困難ケースの調整、支援策の検討					
こころの相談日	83	計画値 (内容)	社会福祉協議会では、市と連携し、「こころの相談日」を開設し、うつをはじめとした心の問題への対応の機能強化に努めます。			継続	—			社会福祉協議会
		実績値 (予定・見込)	心配ごと相談開催実績 (年22回、のべ相談者数24人)	心配ごと相談開催実績 (年23回、のべ相談者数16人)	心配ごと相談見込み (年10回、のべ相談者数15人)					
法律相談	83	計画値 (内容)	弁護士による無料法律相談の機会を設定し、市民生活の安心を図ります。			継続				総務課
		実績値 (予定・見込)	無料法律相談 開催場所：市役所・生涯学習センター 開催回数：24回 利用者数：197人	無料法律相談 開催場所：市役所・生涯学習センター 開催回数：24回 利用者数：186人	無料法律相談 開催場所：市役所・生涯学習センター 開催回数：24回 (予定)					
						同左	同左	同左		